

10. Specifications

Centaurus DAC parameters (LineOut/USB In@96kHz)		
	RCA	XLR
THD+N @A-wt	<0.0003% @1kHz	<0.0003% @1kHz
THD @No-wt 90kBw	<0.0004% @20-20kHz	<0.0004% @20-20kHz
SNR @A-wt	126dB @1kHz	130dB @1kHz
Dynamic Range @A-wt	126dB @1kHz	130dB @1kHz
Frequency Response	20Hz-20kHz (±0.6dB)	20Hz-20kHz (±0.6dB)
	20Hz-40kHz (±2.2dB)	20Hz-40kHz (±2.2dB)
Output Level	2.1Vrms @0dBFS (4V Mode)	4.2Vrms @0dBFS (4V Mode)
	2.6Vrms @0dBFS (5V Mode)	5.2Vrms @0dBFS (5V Mode)
Noise @A-wt	<1.2uVrms	<1.4uVrms
Channel Crosstalk	-121dB @1kHz	-130dB @1kHz
Channel Balance	0.3 dB	0.3 dB
Output Impedance	50Ω	100Ω

*Note: The above data is the result of the test in TOPPING laboratory with 4V output mode.

カタログ

1. 同梱物	1
2. 製品の基本情報	1
3. 対応できるスペック	1
4. 部品と名称	2
前パネル	2
裏パネル	2
表示に関する説明	3
リモコンについての説明	3
5. コネクション	4
入力源に接続する	4
アンプまたはアクティブスピーカーに接続する	4
6. 操作についての説明	5
オン・オフ / 待受状態についての操作	5
音量についての設定	5
入力切替についての設定	5

出力切替についての設定	5
7. 設定メニュー	5
設定メニューに入る・設定変更	5
メニューの概要	6
1. ディスプレイ	6
2. 入力選択	6
3. 出力選択	6
4. 12V Trigger	6
5. PEQの設定	7
6. こうきゅう	7
7. 言語	8
8. 初期化して再起動	8
8. トラブルシューティング	8
9. 日常における注意事項	8
10. パラメータ	9
11. 付録	

1. 同梱物

Centaurus本体	x 1
リモコン	x 1
USBケーブル	x 1
AC電源コード	x 1
ブルートゥースアンテナ	x 1
製品情報カード	x 1

*ドライバダウンロードリンク: <https://www.toppingaudio.com/downloads>.

2. 製品の基本情報

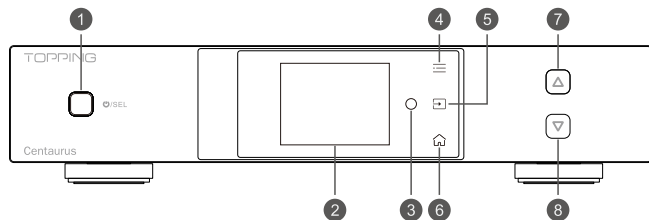
サイズ	22.2cm x 16.0cm x 4.5cm
重量	1.13Kg
電源	100-240VAC 50Hz/60Hz
入力ポート	USB/BT/OPT/IIS/AES/COAX
リニア出力ポート	XLR/RCA
ほかのコントロールインターフェース	12Vトリガーの入力 (3.5mmソケット)
	12Vトリガーの出力 (3.5mmソケット)
Bluetoothの通信距離	>10M
ディスプレイ	2.0インチLCDカラースクリーン
待機消費電力	<1.7W
消費電力	<6.5W

3. 対応できるスペック

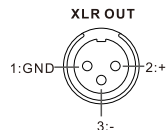
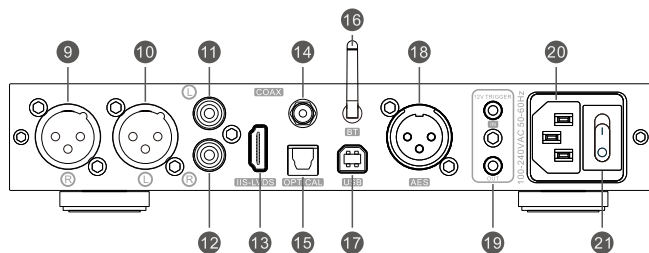
USB IN	PCM 44.1kHz-768kHz/16bit-32bit
	DSD DSD64-DSD512 (Native) , DSD64-DSD256 (DoP)
	PEQ 44.1kHz-192kHz/16bit-24bit
IIS IN	PCM 44.1kHz-768kHz/16bit-32bit
	DSD DSD64-DSD512 (Native) , DSD64-DSD256 (DoP)
COAX/OPT/AES IN	PCM 44.1kHz-192kHz/16bit-24bit
	DSD DSD64 (DoP)
	PEQ 44.1kHz-192kHz/16bit-24bit
BT IN	AAC/SBC/APTX/APTX HD/APTX-Adaptive/LDAC
	PEQ 44.1kHz-96kHz/16bit-24bit

4. 部品と名称

前パネル



裏パネル



1. 電源スイッチ/SEL

短押しで電源オン；長押しでスタンバイモード；電源オン時の短押しの機能はカスタマイズ可能。設定メニューで「設定メニュー詳細設定ボタン」から設定してください。

2. ディスプレイ

3. リモコンレシーバー

4. メニュー

「5. 設定メニュー」にて詳細をご確認ください

5. 入力選択スイッチ

6. ホーム画面の選択

7. 音量上げ

8. 音量下げ

9. Line Out XLR 右

10. Line Out XLR 左

11. Line Out RCA 左

12. Line Out RCA 右

13. IIS 入力

14. COAX 入力

15. 光ファイバー入力

16. ブルートゥース入力

17. USB 入力

18. AES 入力

19. 12Vトリガーの入力/出力（3.5mm端子）

2つ以上のトリガーポートを搭載している機器が接続すると、オン・待機が同期される。トリガー入力ポートに接続している上流側機器はCentaurusのオン・待機をコントロールすることができ、Centaurusはトリガー出力ポートに接続している下流側機器のオン・待機をコントロールすることができる。*デバイスのTrigger IN機能を使用する場合は、リモコンのAUTOボタンを押して自動電源オン/オフを「12V」に設定する必要があることを注意してください。

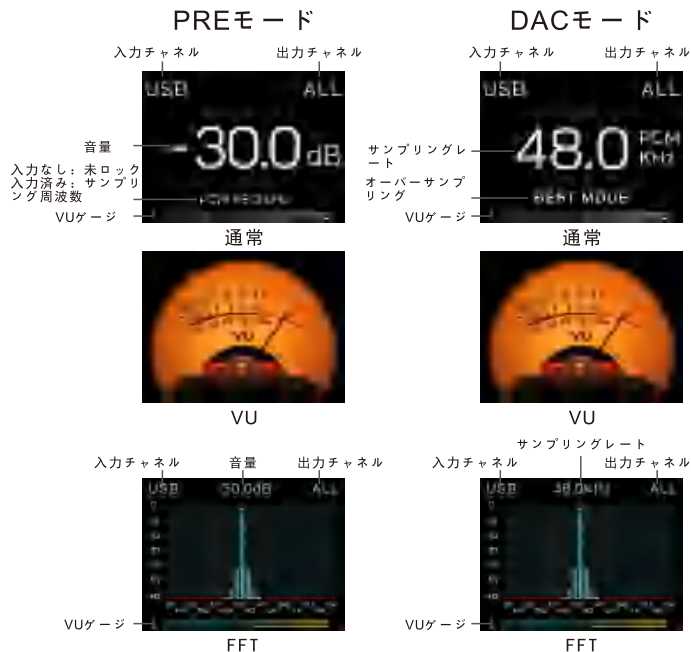
20. 給電入力（AC 100-240V 50Hz/60Hz）

21. 電源スイッチ

表示に関する説明

メイン画面では「通常・VU・FFT」が表示されている。フロントパネルにある  ボタンを押すことで切り替える、またはメニューで「設定メニュー表示→メイン画面」から設定することができる。

プリアンプモードとDACモードは「設定メニュー詳細設定→デコードモード」から設定できる。Centaaurusのプリアンプモードでは、音量が調整可能となる。DACモードでは、最大音量を出力し続けることができるが、音量が調整不可となる。また、メイン画面で表示される内容に少し違いがある。

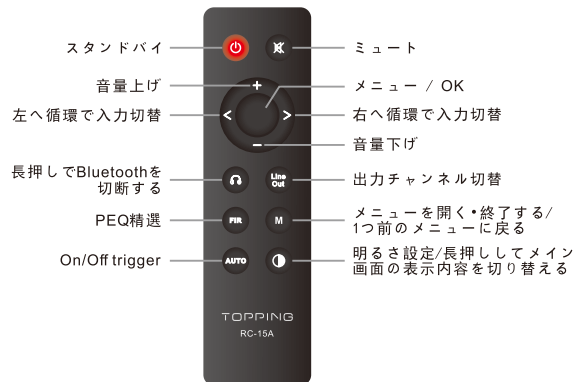


*VUメーター、VUゲージ、FFTは、現在の入力におけるCentaaurusの出力振幅に反応します。（ボリューム コントロールの影響は受けません）

Centaaurus の出力モードには、シングルエンド、バランス、オール の 3 種類があります [Setup menu- Output select]。シングルエンド出力の場合、VUメーター、VUゲージ、FFTはRCAの出力振幅を示し、バランス出力とオール出力の場合はXLRの出力振幅を示します。

*VUメーター、VUゲージとFFTはDSD512に対応していない。

リモコンについての説明



PIR

「設定メニュー」の「5.PEQの配置」にて詳細をご確認ください

AUTO

「設定メニュー」の「4.電源トリガー」にて詳細をご確認ください

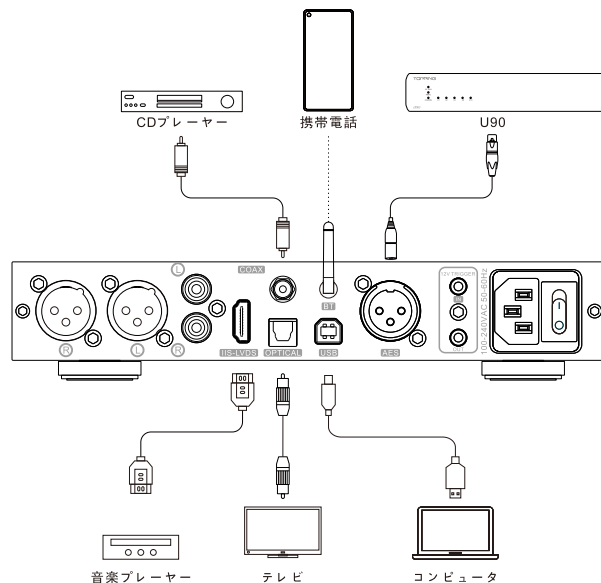
!

「設定メニュー」の「1-3明るさ」にて詳細をご確認ください

5. コネクション

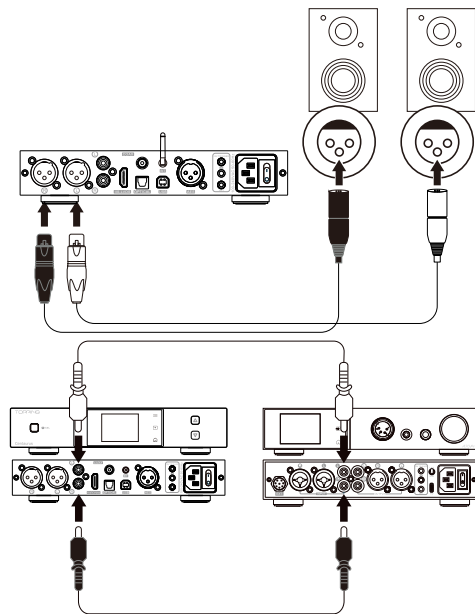
入力源に接続する

入力インターフェースは、IIS、USB、光纤、COAX、Bluetooth、AESの6種類ある。



アンプまたはアクティブスピーカーに接続する

RCAまたはXLRケーブルを通してアンプやアクティブスピーカーに接続する。デバイスを破壊しないよう、接続前にアンプやアクティブスピーカーをオフにしてください。



6. 操作についての説明

オン・オフ / 待受状態についての操作

(1) オン・オフ

アフターパネルの電源スイッチをオン・オフするとCentaursバージョンをオン・オフにすることができます

(2) 待受状態入り・待受状態終了

作動時にフロントパネルの電源ボタンを長押しすると待受状態に入れます。待受時に短く押すと待受状態を終了できます。また、リモコンの待受ボタンを押すことで、待受状態入り・待受状態終了を直接操作することもできます

音量についての設定

(1) ミュート状態入り・ミュート状態終了

リモコンのミュートボタンを押すとCentaursバージョンをミュート状態に設定することができます。ミュートボタンを再度押す、または音量を調整することでミュート状態を終了することができます

(2) 音量調整

パネルの音量上げ・音量下げボタンまたはリモコンの音量上げ・音量下げボタンを押すとCentaursバージョンの音量を調整することができます。音量上げ・音量下げボタンを長押しすると、素早く音量を調整できます。聴力にダメージを与えないようご注意ください。

ご注意: DACモードでは、音量が0dBに固定され、音量調節が無効になる。「設定メニュー詳細設定ーデコードモード」

入力切替についての設定

フロントパネルにある ボタン、リモコンにある または ボタンを押すことで順番に入力を切り替えられる。

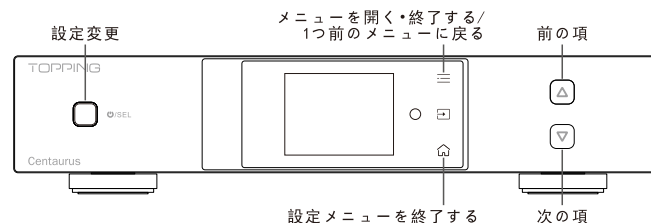
輸出通道切換

リモコンにある ボタンを押すと、順番に出力を切り替えられる。また ボタンを押すことで出力チャンネルを切り替えられる。しかし、「設定メニューー詳細設定ーボタン」を「出力オプション」に設定する必要がある（デフォルト）

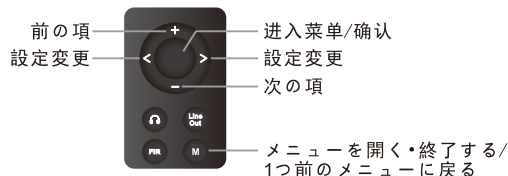
7. 設定メニュー

設定メニューに入る・設定変更

フロントパネルのボタン



リモコン



メニューの概要



1. ディスプレイ

1-1 テーマ

複数のオプションが利用可能、デフォルトのオーロラ。

1-2 メイン画面

メイン画面の表示画面を選択する
通常（デフォルト）、VU、FFT

1-3 明るさ

暗、中（デフォルト）、明、自動「自動」モードの明るさは「中」モードと同様です。ただ、「自動」モードにおいて、30秒間操作しないとスクリーンが自動的に閉鎖されます。閉鎖時に、現在の入力チャンネル表示されます。任意のボタンをタップするとスクリーンを起動させることができます。



1-4 クラシックVU 0dB

VU画面で0dB時の参照電圧を設定する。4に設定した場合、指針が0dBを指すと、Centaurusの現時点の出力振幅が4となる。+4dBu（デフォルト）、+10dBu

1-5 VUゲージ

VUゲージをオン・オフする、またはメイン画面でVを表示することができる全開（デフォルト）、通常画面、画面、全開

2. 入力選択

USB（デフォルト）、光ファイバー、COAX、AES、Bluetooth、IIS

3. 出力選択

シングル：RCA出力のみ

バランス：XLR出力のみ

フル：RCAとXLRの同時出力（デフォルト）

4. 12V Trigger

信号：入力信号に基づいて電源をオン・オフにする。Centaurusのオート待機機能をオンにする時、1分以内に入力端子に接続していない、または入力信号が無効になる場合、自動的に待機状態に入ります。任意の有効な入力信号を検出すると、自動的に正常動作状態に戻ります。（デフォルト）

12V：12V信号に基づいて電源をオン・オフにする。12Vのトリガー出力ポートを搭載している機器がCentaurusのトリガー入力ポートと接続すると、Centaurusのオン・待機をコントロールすることができる。トリガー入力ポートで12V信号が0から徐々に強くなるのを検出した時、Centaurusは自動的にオンになる；12V信号が徐々になくなるのを検出した時、Centaurusは待機に入る。

OFF：オートオン・待機機能をオフにする

5. PEQ配置

5-1 PEQ

有効化（デフォルト）、無効化

PEQサポート範囲	
USB IN	44.1kHz-192kHz/16bit-24bit
IIS IN	未対応
COAX/OPT/AES IN	44.1kHz-192kHz/16bit-24bit
BT IN	44.1kHz-96kHz/16bit-24bit

5-2 PEQの選択

NULL: 機器の構成がありません（デフォルト）

Unused: 機器の構成が選択されていません

1、2、3、4、5は、TOPPING Tuneの機器構成で調整された周波数特性曲線に対応する。

注意: TOPPING Tuneでは、周波数特性カーブのローカル・コンフィギュレーションをCentaurusに保存でき、Centaurusはこのコンフィギュレーションをオフラインで使用できます。TOPPING Tuneを終了するか、デバイス上で構成を切り替えることができます

6. こうきゅう

6-1 チャンネルバランス

設定可能範囲: C（バランス）、L+0.5~9.5dBあるいはR+0.5~9.5dB

フロントパネルのボタンの設定機能を使用する時、  ボタンを押して「設定」に入り、 また、 ボタンを押すことで数値を調整し、再び電源ボタンを押すと「設定」を終了する。

6-2 出力振幅

0dBFS時の最大出力振幅を設定する
4V（デフォルト）、5V

6-3 DACモード

PRE: 音量調整可能（デフォルト）

DAC: 最大音量を保ちます、音量調整不可

6-4 オーバーサンプリング

OS: デジタル信号にオーバーサンプリングを行うことで、計量誤差を抑え、騒音を低減させ、オーディオ信号のS/N比とダイナミックレンジを高め、更に音質を改善する。以下のOS modeでオーバーサンプリングの倍数を設定することができる。

NOS: デジタル信号にオーバーサンプリングを行わず、生サンプルレートに基づいてデコードする。このモードでは、オーディオ信号の本来の特徴が保留される。

Best: 最適なオーバーサンプリングレートは、音源のサンプルレートとデコーダー内部の演算能力に応じて自動的に決まる。

ご注意: Centaurusはオーバーサンプリング後のサンプルレートではなく、入力信号のサンプルレートを表示する。

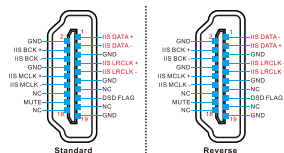
6-5 OS mode

オーバーサンプリングの倍数を設定、オーバーサンプリングレート=入力信号のサンプルレートの基本周波数×倍数

1X、2X（デフォルト）、4X、8X、16X

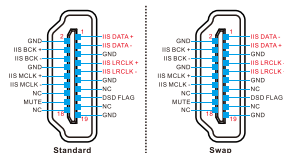
6-6 IISポートの位相の設定

Standard（デフォルト）、Reverse



6-7 IISポートのDSDトラックの設定

Standard（デフォルト）、Swap



6-8 Bluetooth

Enabled: 有効化（デフォルト）

DISABLED: 無効化

6-9 Bluetooth aptX

Enabled: 有効化（デフォルト）

DISABLED: 無効化

Centaurusは様々なオーディオエンコーディングに対応しています。OFFに設定すると、APT-X-AdaptiveエンコーディングをOFFにし、残りのエンコーディングを使用することができます（携帯電話によって異なります）。

6-10 リモコン

Enabled: 有効化（デフォルト）

DISABLED: 無効化

6-11 ボタン

 SEL ボタン短押しでオンにする機能をカスタマイズできる
出力選択（デフォルト）、ホーム画面の選択、明るさの選択、休憩中の画面表示、ミュート、入力選択

6-12 USB

UAC2.0（デフォルト）、UAC1.0

7. 言語

English、中国語

8. 初期化して再起動

初期設定に戻るのを選択すると、ポップアップが出現する。確定/取り消しを選択し（選択できたら青になる）、リモコンの真ん中にあるボタンまたはフロントパネルにある  SEL ボタンを押して選択する

8. トラブルシューティング

使用中に問題が発生した場合は、下記のリンクから適切な解決策を見つけてください
<https://www.toppingaudio.com/faq>

検索方法: Window OS キーボードのCtrl + Fキーを同時に押して（Mac OS command + Fを同時に押す）、デバイスの型番を入力して検索すると、該当するデバイスのFAQにジャンプできます。

問題を解決できない場合、私たちとご連絡ください: service@tpdz.net

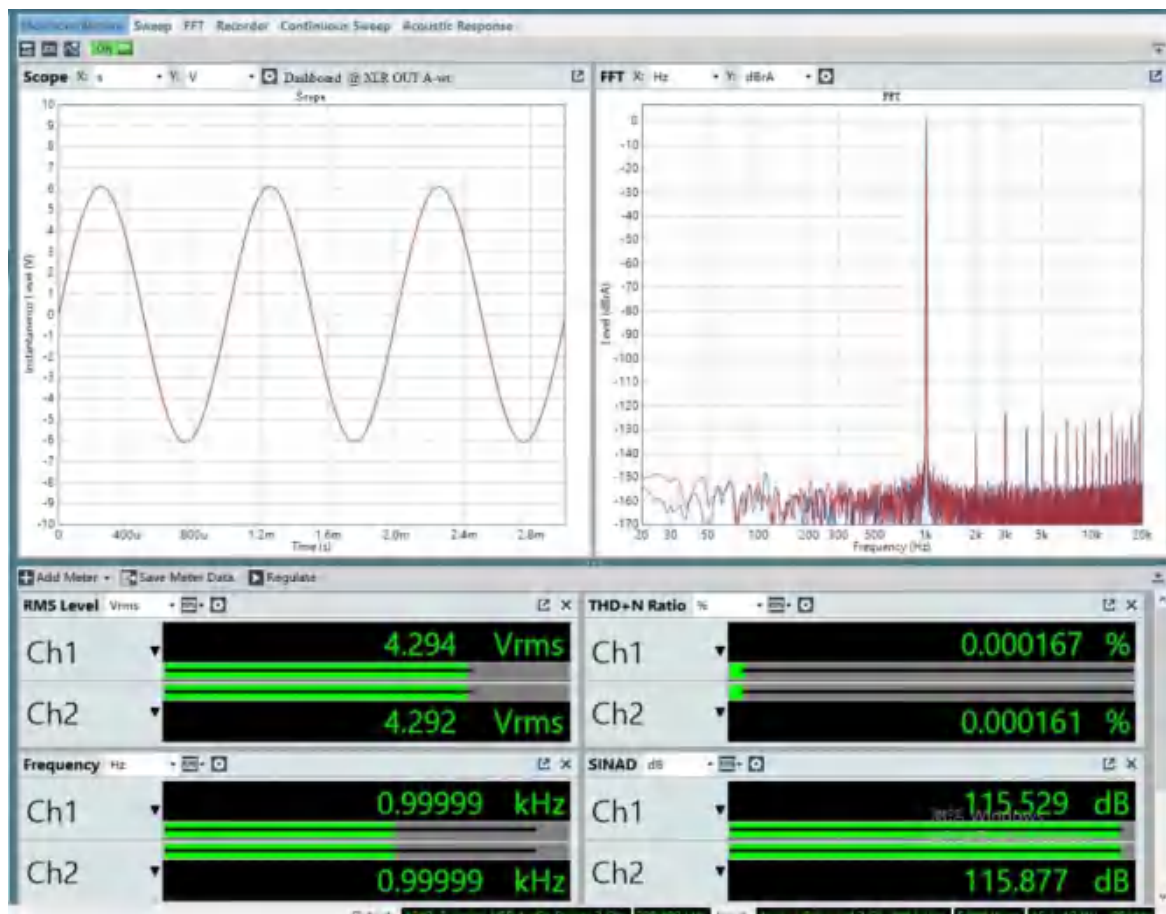
9. 日常における注意事項

1. 本商品を高温高湿の環境に置いてはいけません、雨の濡れや強い衝撃をお避けください。
2. 本体のケースを無断解体してはいけません、修理が必要な場合、専門スタッフにお尋ねください。
3. 室内のみでご使用ください
4. 製品自体または製品の使用から直接または間接的に生じたいかなる損害についても、一切責任を負うものではありません。
5. 製品の仕様は性能の改良などのため予告なしに変更することがあります。

10. パラメータ

Centaurus/パラメーターリスト (LineOut/USB In@96kHz)		
	RCA	XLR
全高調波歪み+ノイズ @A-wt	<0.0003% @1kHz	<0.0003% @1kHz
全高調波歪み @90kBw (No-wt)	<0.0004% @20-20kHz	<0.0004% @20-20kHz
信号対雑音比 @A-wt	126dB @1kHz	130dB @1kHz
ダイナミック・レンジ @A-wt	126dB @1kHz	130dB @1kHz
周波数応答	20Hz-20kHz (±0.6dB)	20Hz-20kHz (±0.6dB)
	20Hz-40kHz (±2.2dB)	20Hz-40kHz (±2.2dB)
出力振幅	2.1Vrms @0dBFS (4V Mode)	4.2Vrms @0dBFS (4V Mode)
	2.6Vrms @0dBFS (5V Mode)	5.2Vrms @0dBFS (5V Mode)
底のノイズ @A-wt	<1.2uVrms	<1.4uVrms
クロストーク	-121dB @1kHz	-130dB @1kHz
チャンネルバランス	0.3 dB	0.3 dB
出力インピーダンス	50Ω	100Ω

*注：以上のデータは、TOPPING研究所が出力振幅4Vモードでテストした結果です。



SNR @ XLR OUT

Signal to Noise Ratio

2024/7/3 18:00:51.378



Ch1

131.724 dB

Ch2

131.621 dB

0 20 40 60 80 100 120 140

Signal to Noise Ratio (dB)

DNR @ XLR OUT

Dynamic Range - AES17

2024/7/3 18:03:55.246



Ch1

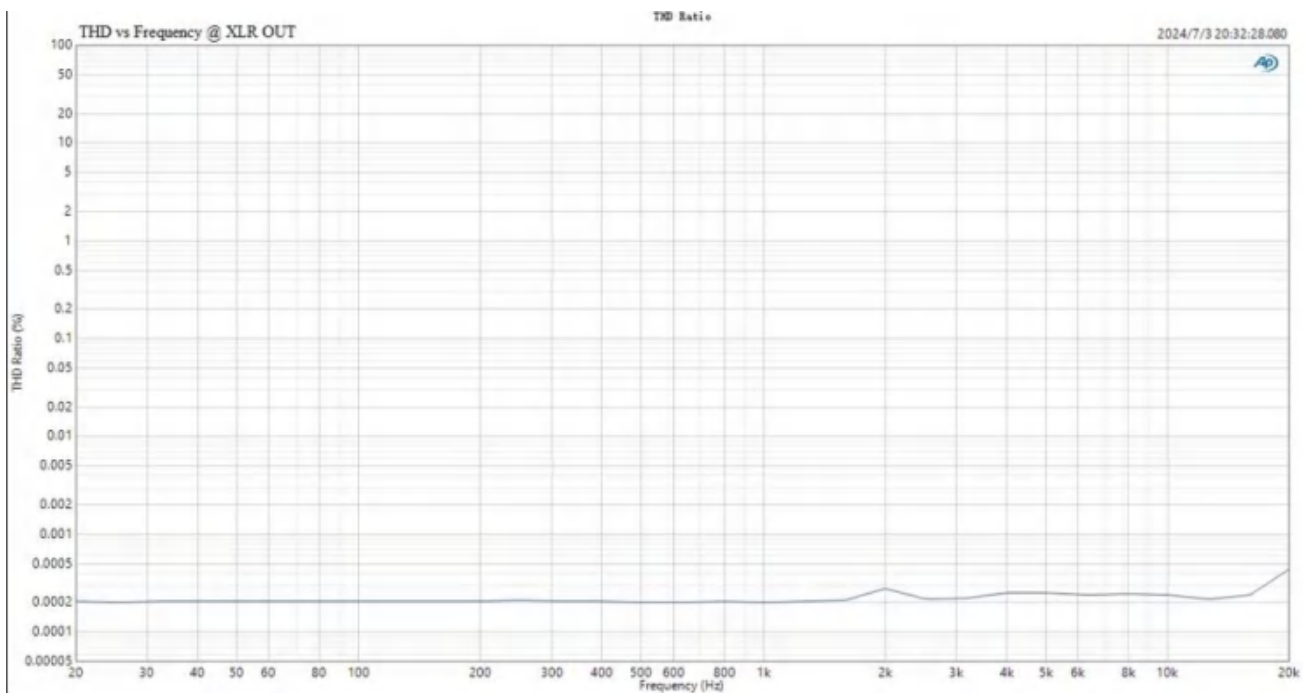
131.727 dB

Ch2

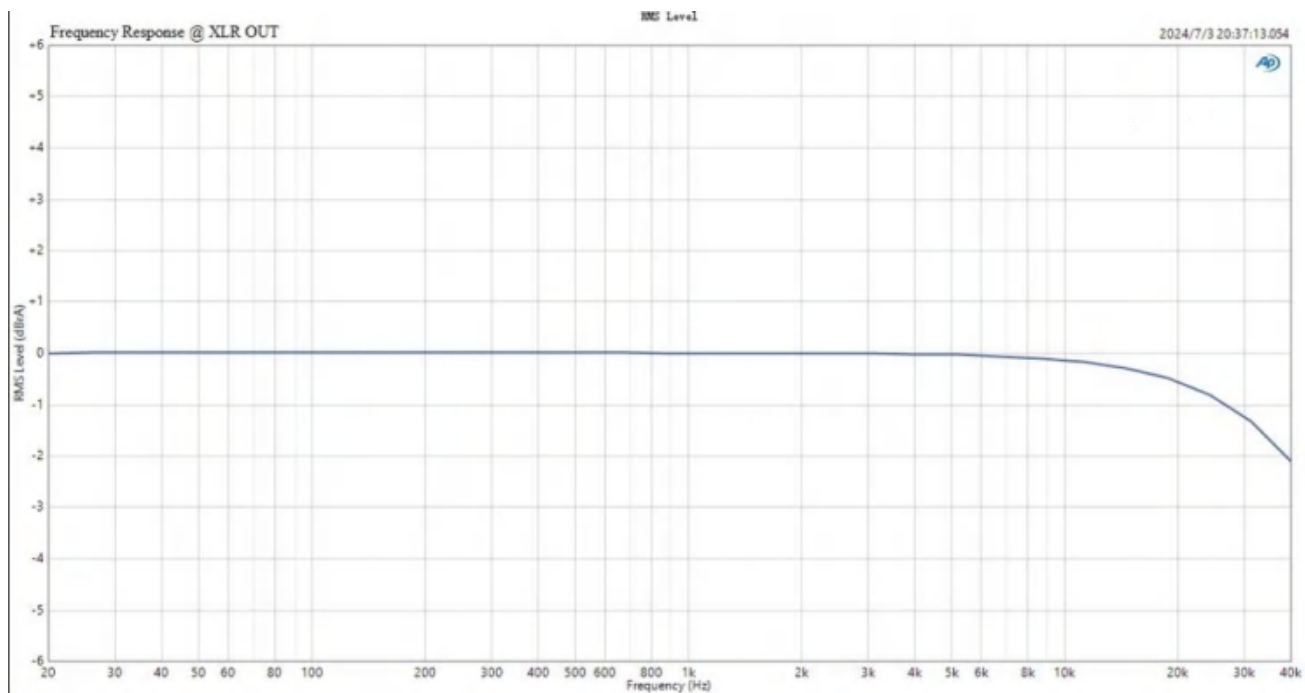
131.529 dB

0 20 40 60 80 100 120 140

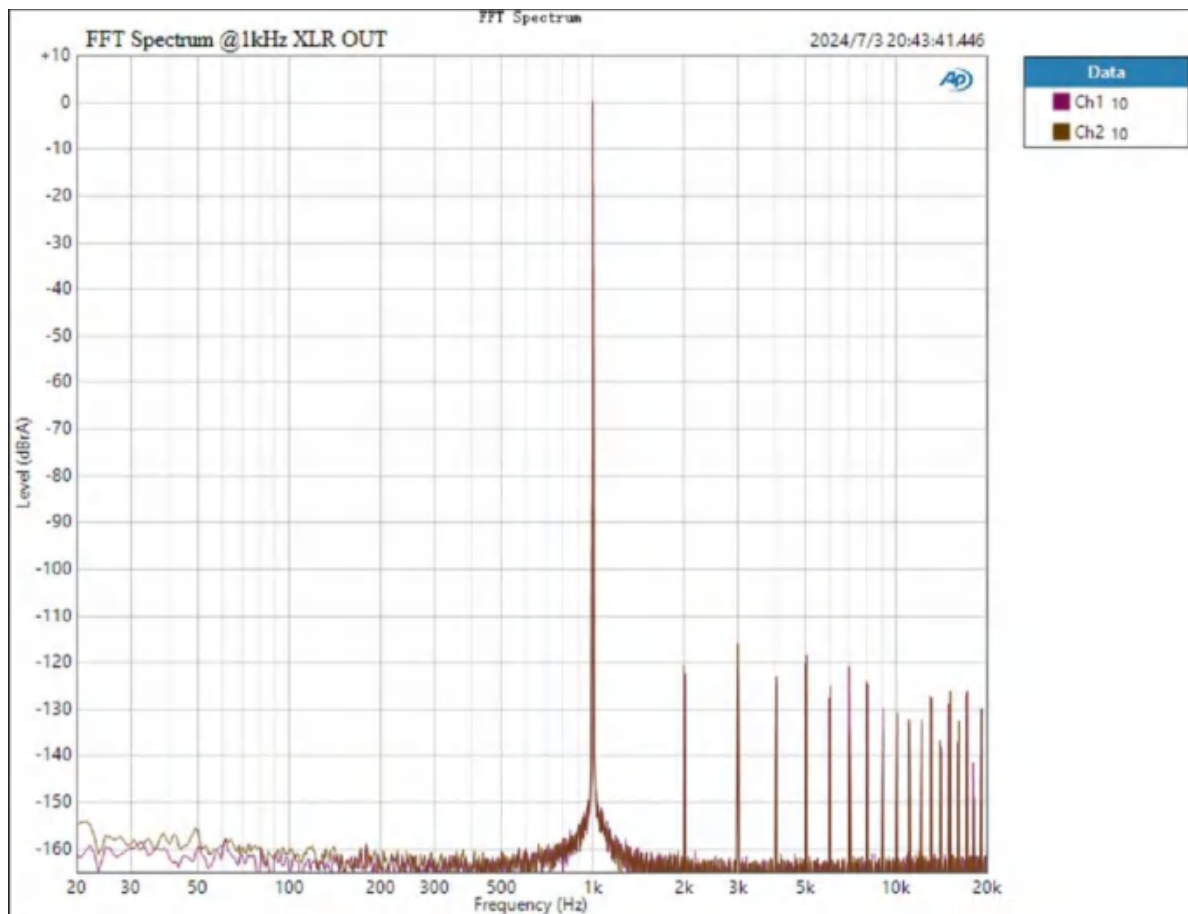
Dynamic Range - AES17 (dB)



Data
Ch1 10



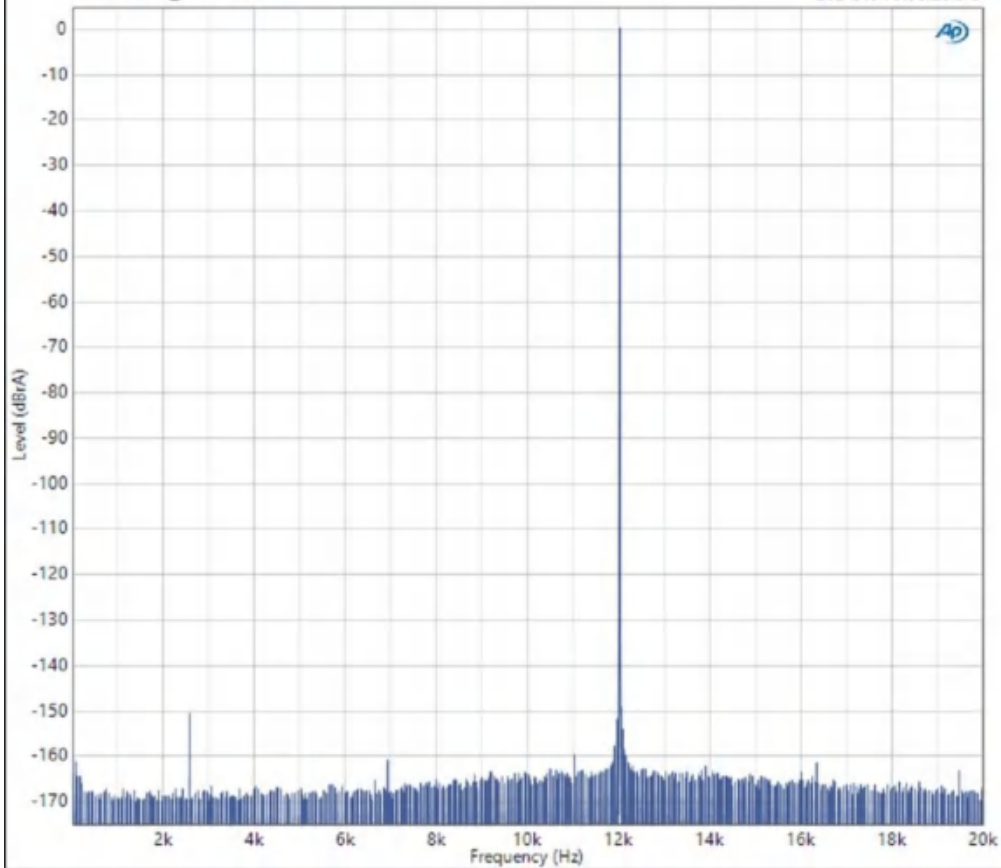
Data
Ch1 10

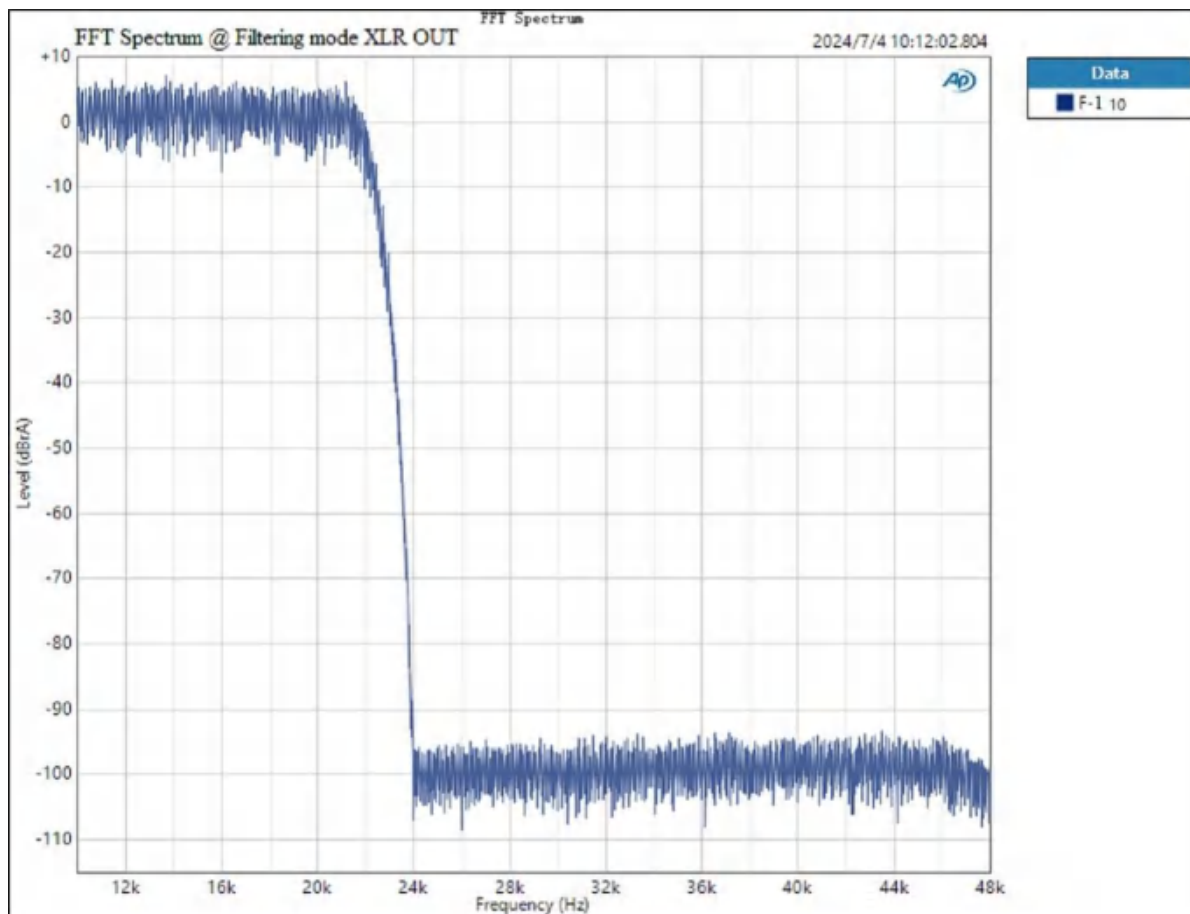


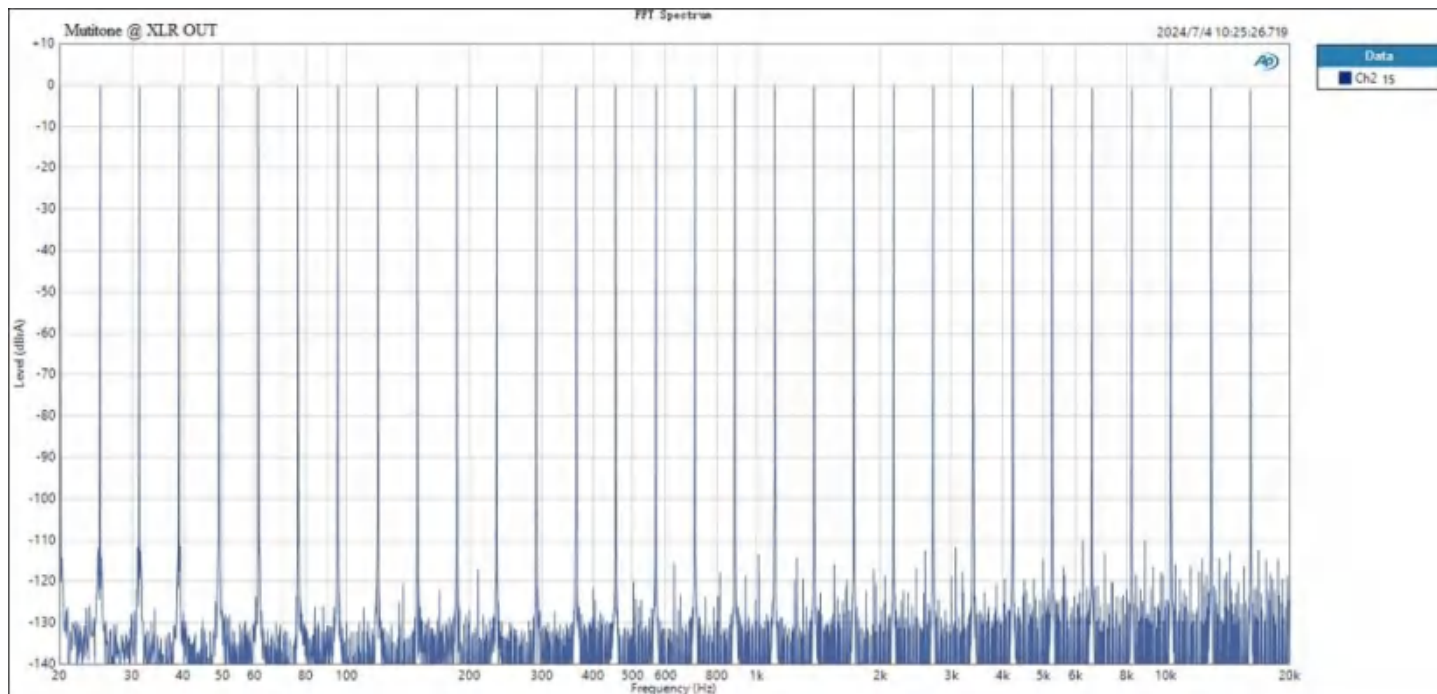
Jitter Test @ XLR OUT

FFT Spectrum

2024/7/4 9:58:20.670







FCC Warning Statement: Changes or modifications to this unit not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment. This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

FCC Radiation Exposure Statement

The device has been evaluated to meet general RF exposure requirement. The device can be used in portable exposure condition without restriction.